

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5 年 2月 27日

事業所名 放課後等デイサービス デイジー

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8		十分なスペースを確保。パーティションの活用。	
	2	職員の配置数は適切である	8			利用者様と職員の男女比率が合っていると、なお良い。今後、適正なバランスも考慮する。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	8		床面の段差の無くしている。玄関スロープあり。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	8			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8		定期的に行なっている	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		8		第三者(外部)評価の受け入れを検討。
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8			
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8			会議を通じたアセスメントを継続するとともに精度の向上をめざす。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している		8		行動観察や聞き取りによるアセスメントの他に、適切なアセスメントツールを検討していく。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	8		毎月協議し立案している。月ごとに作成し配布している。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8		新たな活動内容を話し合っている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	8		提供時間に応じた活動を設定している。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	8		個々の特性を考えている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8		毎日、朝礼で話し合いをしている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8		日々のモニタリング記録時に確認・振り返りを行なっている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8		オンライン記録システムを活用している。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8			
関係機関や保護者との連携	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	8			
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	8		予定表を各校と交換している。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		8	該当利用者なし	今後の受け入れも想定し、連絡体制の必要性を認識しておく。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	5		保護者様・相談支援事業所様を通じた情報共有を行なっている。事業者単体での働きかけも検討していく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	3	5		保護者様を通して共有させていただいている。今後、該当者がいる場合は、必要に応じて情報提供を検討していく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	4		連携を行なうよう努めているが、今後密にしていける必要がある。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	5	3	公園・散歩・買い物支援時に機会がある	コロナ禍のため、外出支援の機会が乏しい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		8		コロナ禍のため、参加出来ていなかったが、今後オンライン等での参加をしていく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8		日々送迎時や面談・電話・メール等で行なっている。	必要に応じて個別に情報共有の機会を設けている。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		8	情報共有・相談支援にとどまっている。	ペアレント・トレーニングの必要性和概要について職員周知を進め、必要に備える。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8		契約時に行なっている。随時お問合せにお答えしている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		8	交流会を行なっていたが、開催が見送られている。	コロナ禍が落ち着いたら検討していく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	8		すぐに職員間で共有している。管理者にて情報を把握し、必要に応じて当日中の訪問を行なっている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8		毎月の行事予定表・会報等にて活動内容を発信している。	
	35	個人情報に十分注意している	8			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8		絵カード・文字情報の活用。選択式の質問。	
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		8	地域の清掃活動を毎朝行なっている。	最寄りのお店にてイベントの準備品購入等でご協力いただいている。利用者様・保護者様個々の要望を尊重しながら許容頂ける範囲で検討していく。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	8			随時、職員・保護者様への周知・注意喚起を行っていく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8		定期的に関催。非常食を備え、フォーマットで管理している。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8		定期的に社内・外部の研修を行なっている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	8		契約時に身体拘束について説明。	今後必要な場合は利用者様や保護者様に了解を得るようにしていく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8		保護者様からの情報提供を元に掲示し可視化している。	医師の指示書の有無を確認していく。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8		全事業所で情報共有を行なっている。	事例についての情報共有・対応・支援内容を深めるための機会を設ける。